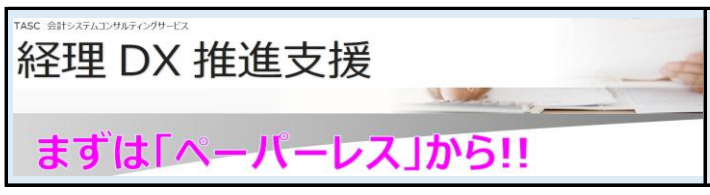
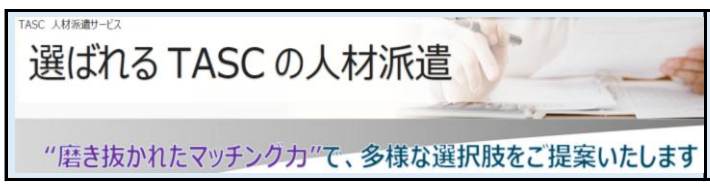
2025年4月

「TASCサービスリーフ」テーマ一覧

「TASCサービスリーフ」は、“TASCではどんなサービスが提供できるの？”をA4一枚にまとめたパンフレットです！

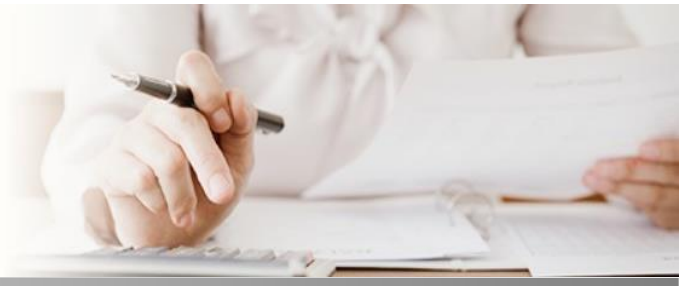
各グループの一押しサービスの概要をまとめてあります。ぜひご覧下さい。

※各リーフレットはTASCの各種サービスの一部をピックアップしたものです。これら以外にも様々なサービスがあります。

	リーフレットタイトル	メインサービス
1		TASCサービス「会計チェック」を活用し、決算書が正しく作られているかを確認 ■ 勘定管理が可能な状況で、計上されている金額が正しいことを確認 ■ 異常残高（滞留残高・赤残）がないことを確認
2		TASCサービス「経理DX推進支援」によるデジタル技術（システム活用）導入事例 ■ 経費精算システムの活用・入替（立替精算、請求書払の電子化） ■ 会社間取引の電子データ化（WEB EDI システムを利用して電子化） ■ 汎用ワークフローシステム（決裁手続きを電子化設定）
3		TASCサービス「給与・労務事務サポート」を活用し、経費化転換と属人化解消 ■ 給与労務担当者の業務各種サポート（給与・賞与計算、各種手続・届出補助など） ■ 給与労務業務の視える化支援（問題を生まない環境づくりをサポート）
4		TASCサービス「会社法監査対応支援」を活用し、監査負荷を軽減 ■ 会計監査人として、中小監査法人or 公認会計士を選任 ■ 会社法監査への対応の際、高負荷業務をTASCが代行
5		TASCサービス「内部監査導入支援」を活用し、不祥事防止の仕組みを構築 ■ 内部監査チームの組成支援とTASCメンバーの参画サポート ■ 監査方針/計画の策定、予備調査の実施支援 ■ 内部監査の実施、評価、報告（含む改善提案）
6		TASCサービス「内部統制チェック」を活用し、チェックシートで課題を見える化 ■ 内部統制の整備状況（仕組み）をチェック ■ 整備（仕組み）通りの運用がされているかを確認
7		TASCサービス「製品別原価管理」の導入支援 ■ 製造・生産の実状を現地現物で確認 ■ どのような原価計算が適切で実現可能か検討し、ご提案 ■ 実際のデータに基づいて 製品別原価の集計を実施
8		TASCによる「収益管理」サービス提供事例 ■ 月次進捗確認および経営層報告の様式を提案 ■ 部門別の活動結果を分析し評価するため、現地現物で実態を調査 ■ トヨタ流の収益目標策定方法をご提案
9		TASCによる「予算管理」サービス提供事例 ■ 収益目標と売上/費用の連動を図る「予算策定プロセス」を設計・ご提案 ■ 日常管理の視える化に向け、わかりやすい「予算管理ボード」を導入 ■ 予実比較のための「実績集計業務の自動化、効率化ツール」をご提案
10		TASCサービス「原価企画」の導入・改善支援 ■ 製造・生産の実状を現地現物で確認し、費用発生メカニズムを把握 ■ 適切な原価見積方法と業務要件、運用フローをご提案 ■ 関係部署の役割分担、情報共有のマイルストーン設定をご提案
11		TASCサービス「人材派遣」による多様な選択肢をご提案 ■ お客様のニーズに合わせた、さまざまな就労ケースに対応 ■ スキルだけでなく、社風との相性も加味したマッチング力 ■ コンプライアンスを徹底した安心のバックボーン
12		TASCサービス「カスタマイズ型企業研修」の企画・実施支援 ■ 研修コンセプトとテーマ設定の構築支援 ■ 研修結果を現場カイゼンにつなげる実践的研修プログラム制作 ■ 人事アセスメント実施による人材選抜を支援（研修と連動/協力会社実施）

TASC 監査/経理コンサルティングサービス

会計チェック



正しい決算書作っていますか？

■決算書の意義

正しい決算書が作られていないと・・・

- **業績/財産状況を正しく把握** ⇒ 実際の業績/財産状況と決算書が異なり、**経営判断を誤る**可能性がある
- **税金計算** ⇒ 税金計算を誤り、**税金を必要以上に多く支払ったり、支払額が不足**する
- **利害関係者の判断材料** ⇒ **金融機関の融資判断や、株主の投資判断を誤らせる**可能性がある

■なぜ正しい決算書が作られないのか？

- ◆ 補助簿がないため、金額の妥当性について把握できない
- ◆ 引当金計上や税効果会計など、高度な会計スキルが必要な処理がわからない
- ◆ 最新の会計基準に対応していない
- ◆ 固定資産の実地たな卸を実施していないため、架空資産が計上されている
- ◆ 決算スケジュールがタイトで、金額の妥当性を担保できない　等

■会計チェックしてみませんか？

- TASC サービス**「会計チェック」**を活用し、決算書が正しく作られているかを確認
  - ✓ **勘定管理が可能な状況であることを確認**
    （＝相手先別・発生日別・取引内容別の残高が把握できる補助簿（帳票）等があるか）
  - ✓ **残高が計算書類、合計残高試算表、補助簿間で整合性がとれていることを確認**
  - ✓ **計上されている金額が正しいことを確認**
    1）B／S 残高が現物と一致していること（例：現金、手持手形）
    2）B／S 残高が社外機関発行の証憑と一致していること（例：残高証明書、請求書）
    3）B／S 残高が社内帳票に基づき計上されていること（例：固定資産のたな卸結果）
    4）決算修正は算定根拠が明確にされていること（例：税効果会計、引当金）
    5）期間損益が正しく計算されていること（例：売掛金、買掛金）
  - ✓ **異常残高（滞留残高・赤残）がないことを確認**

他にもこんなサービスあります！

■内部統制チェック

- 会社の仕組みに問題ないかを確認
  - ✓ 必要な規程/マニュアルがあるか
  - ✓ 効率的な運用になっているか
  - ✓ 不正やミスを防止できるか　等

会計チェックスケジュール

※ご要望に応じてご支援します

事前準備（約2週間） → 訪問（3日間） → まとめ/報告（約2週間） → 改善

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
監査/経理コンサルティンググループ　シニアコンサルタント
白木　亮
Mobile: 080-5858-8255
E-mail: rshiraki@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅 3-25-9
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (会社代表番号)
FAX: 052-581-7780

TASC 会計システムコンサルティングサービス

経理 DX 推進支援

まずは「ペーパーレス」から!!

■デジタル技術をフル活用し、単純なハンド作業を撲滅

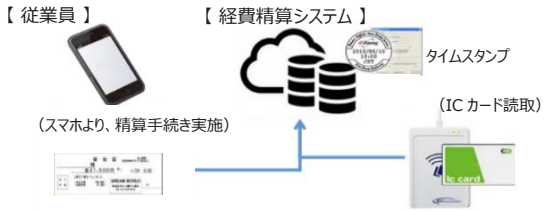
- 経費精算、支払処理の手続きの手間を減らしたい(スマホの活用)
- 紙面による「見積書/請求書」のやり取り・保管・管理の手間を削減したい
- 紙面による社内申請、決裁手続きをやめて、電子手続きにしたい

※１　：　導入効果は対象業務の運用方法、会社規模などにより異なります。

■デジタル技術（システム活用）導入事例

1．経費精算システムの活用・入替

経費/旅費、交際費/会議費の立替精算、経費等の請求書払の電子化（スマホ、IC カードデータ活用）



＜導入効果＞

・申請内容(精算金額)のミス件数が削減

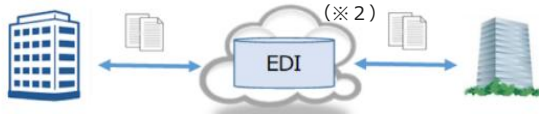
⇒　経理側の経費精算業務の時間を 50%削減　など

・ペーパーレスでの申請による経費削減

⇒　コピー用紙代金を 30%削減　など

2．会社間取引の電子データ化

注文書、請求書などの紙や FAX のやり取りを、WEB EDI システムを利用して電子化



（※２）Electronic Data Interchange〔(企業間)電子データ交換〕
取引情報（見積・発注内容・研修情報・請求情報など）を電子データでやり取りする仕組み

＜導入効果＞

・請求書の発送コストを大幅に削減

・売上・債権管理データの 2 重入力業務を効率化（ミス低減）

⇒　経理での対応工数の低減に寄与

3．汎用ワークフローシステム

りん議規程、決裁基準などの社内ルールの承認パターンを体系し、決裁手続きを電子化設定

＜導入効果＞

・意思決定の迅速化

・管理業務(りん議番号付与、ファイリング)の撲滅

⇒　管理業務の対応工数の低減に寄与

サービスフロー

課題ヒアリング	現状把握	解決策検討	現状把握	導入支援
要望事項確認→ご提案	現場ヒアリング→**課題**整理・**優先順位付**	システムで実現したい要望事項を**具体化**	**機能比較／費用比較**	選定システムへの**設定業務**、**運用マニュアル作成**

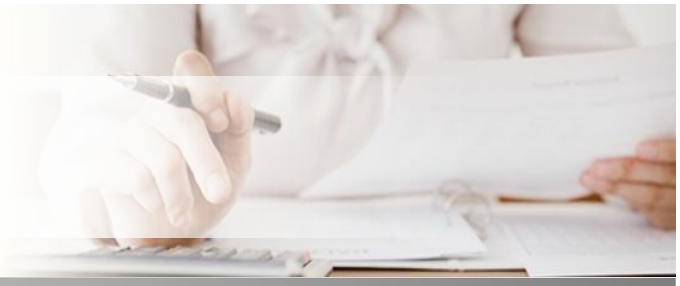
お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
システムコンサルティンググループ　グループ長
岡田　陽介
Mobile: 080-5800-6735
E-mail: yokada@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780

TASC　人事事務サポートサービス

給与・労務事務サポート



最新法令に基づいて、人事労務のプロが業務をサポートいたします。

こんなお困りごとはありませんか？

① 担当者の退職を機に、給与計算業務について**アウトソーシングを利用**し経費化したい

② **業務が属人化**してしまっているため、業務内容全体を会社が把握できていない

③ **給与システムの新規導入や入れ替え**をしたいが、何から始めればよいのかわからない

主なサポート内容

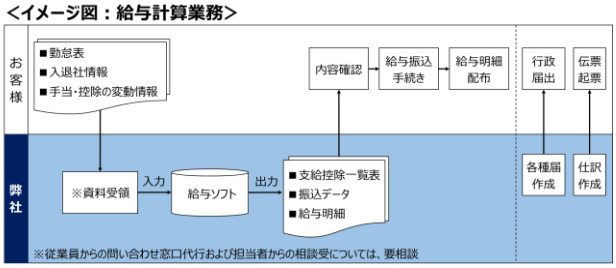
【 給与労務担当者の業務各種サポート】

給与担当者のルーチン業務を代行いたします。なお、現在、給与ソフトをお持ちでない会社については、弊社保有のソフトで対応いたしますので、給与ソフトの導入の機会としても弊社サポートをご活用いただけます。

＜サポート可能な業務例＞

- **給与・賞与計算業務（年末調整を含む）、勤怠確認**
- **入退社・休復職時の社会保険や福利厚生関連の手続補助**
- **法定調書・算定基礎届・労働保険更新申告等の届出補助**
- **退職金引当金・賞与引当金等の引当金管理**
- **最新法令紹介および実際の対応場面での担当者 toDo アドバイス**

＜イメージ図：給与計算業務＞



※注意：給与ソフトの利用について

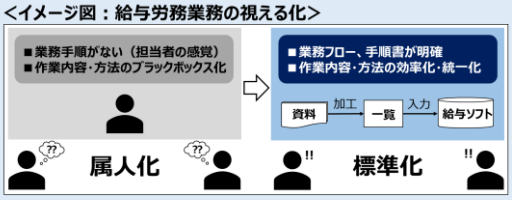
・原則として、現在使用中の給与ソフトにて実施するため、弊社が使用する専用アカウント発行をお願いいたします。

・現在給与ソフト未使用の場合は、弊社保有ソフト(PCA)を使用します(有償)。また、現使用ソフトから弊社保有ソフト(PCA)への乗換えも可能です。詳細についてはご相談ください。

【給与労務業務の視える化支援】

給与労務は、情報の重要性が高いにも関わらず、担当者が固定化・長期化しやすく、それにより問題が発生していても発見が遅れがちな業務です。
可能な限り整理し、作業工程を視える化することで、問題を生まない環境づくりのお手伝いをいたします。

＜イメージ図：給与労務業務の視える化＞



サービスフロー

ヒアリング（3回程度） → ご提案（約2週間） → 運用ルール決定（～1ヶ月程度） → 必要資料ご提出 → 本稼働

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

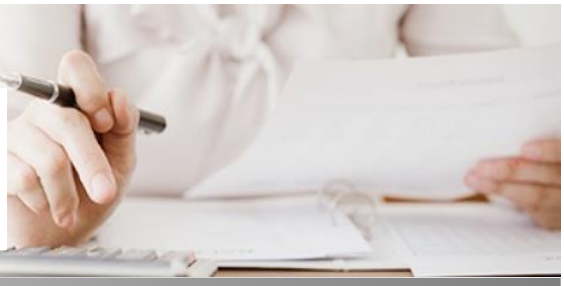
株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
HR サポートグループ　グループ長
伊東　和子
Mobile: 090-8130-0876
E-mail: k-ito@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780

TASC　監査/経理コンサルティングサービス

トヨタ車両販売店向け

会社法監査対応支援



監査対応で困っていませんか？

■監査対応でのお悩み例

お悩みの原因は・・・

- **会計処理を相談すると結論までに時間がかかる**
  ⇒ 大手監査法人では **Signer は常時現場にいるわけではない**
  → 監査法人内での確認・調整に時間を要する
- **監査の対応工数が膨大**
  ⇒ 独立性の観点から、監査対象の資料は**被監査会社にて準備する必要あり**
- **毎期同じ説明をさせられる**
  ⇒ 監査法人内での頻繁な担当変更＆引継不足（？）

■なぜ、監査対応で困る？

- ◆ 通常業務に加えての監査対応
- ◆ 監査で何を確認されるのか？どんな資料を準備すればいいのか？よくわからない
- ◆ いざ資料を作ろうにも ai21 のデータを加工するのが難しい

⇒ 結果として、経理は多残業つづき

■会社法監査対応をサポートいたします！

➢ TASC サービス「**会社法監査対応支援**」を活用し、監査負荷を軽減

✓ **会計監査人として、中小監査法人 or 公認会計士を選任**

⇒ 現場に Signer がいることで、素早い結論形成が実現

★ TASC の協業パートナーである公認会計士をご紹介いたします

✓ **会社法監査への対応支援として、会計監査人とは別に TASC と契約を締結**

⇒ 会計監査人からの負荷の高い依頼への対応を TASC が代行することで貴社工数を低減

⇒ TMC や販売店に関する知見・経験のあるメンバーによる継続的な支援

★ 監査対応支援を実施するなかで、会計上および内部統制上の課題について改善提案を実施いたします（＋付加価値）

他にもこんなサービスあります！

■会計チェック

➢ 決算書が正しく作られているかを確認

- ✓ 勘定管理が可能な状況か
- ✓ 計上されている金額が正しいか
- ✓ 異常残高がないか　等

■内部統制チェック

➢ 会社の仕組みに問題ないかを確認

- ✓ 必要な規程/マニュアルがあるか
- ✓ 効率的な運用になっているか
- ✓ 不正やミスを防止できるか　等

会社法監査対応支援スケジュールサイクル例

期首残高確認（初年度のみ）→ 期中取引確認（3日間×数回）→ 期末確認＆計算書類作成（4～6月）→ 改善

※ご要望に応じてご支援します

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
監査/経理コンサルティンググループ　シニアコンサルタント
白木　亮
Mobile: 080-5858-8255
E-mail: rshiraki@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅 3-25-9
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (会社代表番号)
FAX: 052-581-7780

内部監査導入支援

内部監査の仕組みを導入しませんか？

■内部監査の意義

内部監査とは、組織内部の者（監査役や内部監査部門など）による監査である

- **リスク低減と不祥事防止/発見**　⇒ 社内の不正リスクに気付き、**不祥事を未然に防ぐ**、もしくは不祥事を発見
- **改善策の助言/勧告**　⇒ 適切な業務が行われているかを確認し、**改善策の助言および勧告**する
- **社員への牽制と意識付け**　⇒ **不正を起こさない文化**の醸成

■なぜ、内部監査の仕組みを導入できない？

- ◆ 内部監査を実施する体制がない（内部監査部門がない）
- ◆ 内部監査を実施する時間がない（工数をねん出できない）
- ◆ 何をチェックすれば良いかわからない（監査スキルがない）
- ◆ 内部監査の必要性を感じない（内部監査をする気がない）

■内部監査の仕組みを導入しませんか？

- TASC サービス**「内部監査導入支援」**を活用し、仕組みを構築

POINT　**各社の事情に合わせた内部監査の仕組みを構築**

✓ **内部監査チームの組成**

・特定の部署で内部監査チームを組成できない場合、各部から人員を結集
※貴社内で人員を確保できない場合は、弊社メンバーも参画

✓ **監査方針/計画の策定、予備調査の実施**

・経営者の意向や会社の特色を勘案し、監査方針および監査計画を策定
・監査方針/計画に基づき、監査ツール（チェックシート等）を整備
・内部監査を効果的に実施するため、予備調査を実施

✓ **内部監査の実施、評価、報告（含む改善提案）**

・監査ツールを活用し、ヒアリングおよび帳票等を確認し、評価結果をまとめ、経営者へ報告
※ご要望があれば、弊社メンバーが監査に帯同します

他にもこんなサービスあります！

■会計チェック

- 決算書が正しく作られているかを確認
  - ✓ 勘定管理が可能な状況か
  - ✓ 計上されている金額が正しいか
  - ✓ 異常残高がないか　等

■内部統制チェック

- 会社の仕組みに問題ないかを確認
  - ✓ 必要な規程/マニュアルがあるか
  - ✓ 効率的な運用になっているか
  - ✓ 不正やミスを防止できるか　等

内部監査の仕組みづくり（監査方針等により、対応期間は変動いたします）

※ご要望に応じてご支援します

内部監査チームの組成 → 監査方針/計画の策定 予備調査 → 内部監査実施 評価 → 報告 → 改善

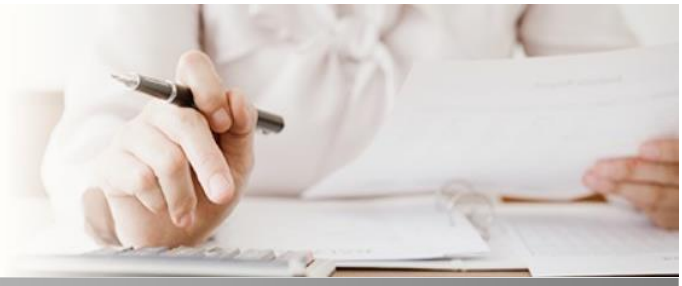
お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
監査/経理コンサルティンググループ　グループ長
田中　敦貴
Mobile: 090-4448-1162
E-mail: atsuki_tanaka@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅 3-25-9
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (会社代表番号)
FAX: 052-581-7780

TASC　監査/経理コンサルティングサービス

内部統制チェック



適切な内部統制を構築していますか？

■内部統制の意義

適切な内部統制が構築されていないと・・・

- ➢ **業務の有効性と効率性を高める** ⇒ **リソーセス（人財・時間・お金）を有効に活用できない**可能性がある
- ➢ **財務報告の信頼性を確保** ⇒ 実際の業績/財産状況と決算書が異なり、**経営判断を誤る**可能性がある
- ➢ **コンプライアンス** ⇒ **会社の信用問題**に発展し、会社としての存在意義が問われる可能性がある
- ➢ **資産の保全** ⇒ **資産を有効活用できない**、また、**横領や着服**等が発生する可能性がある

■適切な内部統制が構築されていない状況とは？

- ◆ 経営方針や行動指針がない
- ◆ 職務分掌が不適切（権限と責任が明確でない）
- ◆ 規程類やマニュアルがなく、ヒトに業務が紐づいている（属人化）
- ◆ モニタリング機能がない（内部監査など）
- ◆ システム未導入（ワークフロー、勤怠システムなど）　等

■内部統制チェックしてみませんか？

➢ TASC サービス**「内部統制チェック」**を活用し、課題を見える化

各社に合わせたチェックシートを作成し、

規程類や関連帳票の閲覧およびヒアリング等を通じて課題を【見える化】します

✓ **以下項目の整備状況（仕組み）が整っているかを確認**

1）全社統制等　（例：親会社との権限規程、内部監査、内部通報制度）

2）法令遵守・会社運営基盤　（例：定款、株主総会、取締役会、実印管理）

3）販売・調達・資金・資産等に係る経理基盤（例：現預金管理、領収書管理、支払承認ルール）

4）関係会社管理（例：子会社とのコミュニケーション、監査状況）

✓ **上記、整備（仕組み）通りの運用がされているかを確認**

※ご要望に応じ、改善（規程類策定/内部監査/システム導入等）もご支援します

他にもこんなサービスあります！

■会計チェック

➢ 決算書が正しく作られているかを確認

- ✓ 勘定管理が可能な状況か
- ✓ 計上されている金額が正しいか
- ✓ 異常残高がないか　等

内部統制チェックスケジュール

※ご要望に応じてご支援します

事前準備	訪問	まとめ/報告	改善
（約2週間）	（3日間）	（約2週間）	

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
監査/経理コンサルティンググループ　グループ長
田中　敦貴
Mobile: 090-4448-1162
E-mail: atsuki_tanaka@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅 3-25-9
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (会社代表番号)
FAX: 052-581-7780

TASC 原価サポートサービス

「製品別原価管理」導入支援

どの製品が利益を生み出し、
どの製品が会社収益の足をひっぱっているのか

■製品別原価管理の意義

一般的に仕掛品評価を目的として行われる原価計算だが、「原価管理」の側面では・・・

- 販売価格を決定 ⇒ 販売価格の決定あるいは新製品の製造受注判断の場面で、製品の収益性を把握できていないと、いくら売っても利益が出ない 恐れがある
- 原価低減を推進 ⇒ 原価構成やムダな費用が掴めず、具体的な 原価低減策を立案できない
- 経営計画を策定 ⇒ 販売拡大を狙う製品や縮小すべき事業など、経営の意思決定が下せない

■しかし、製品別原価の把握は難しい。。。何故なのか？

- ◆ 製造原価の計算が複雑
- ◆ 製品ごとに発生費用を紐付けることがしにくい
- ◆ 製造・生産管理の知識と会計の知識の両方が必要
- ◆ 決められたルールはなく、会社規模・製品種類・生産形態などにより原価計算のやり方が異なる（十分に検討し適切と思われる方法を決める必要がある）など

■TASC の導入支援サービスを利用してみませんか？

- 「製品別原価管理」の導入支援 により製品別原価がわかるようになる
  - ✓ 製造・生産の実状 を現地現物で確認
  - ✓ 費用発生メカニズムを把握し、財務情報とその他管理のための各種情報を用い どのような原価計算が適切で実現可能か 検討し、ご提案
  - ✓ 実際のデータに基づいて 製品別原価の集計 を実施
  - ✓ エラーがないか、また継続運用が可能かを検証し、仕組み（定常業務）として導入

サービスフロー

① 現状調査（2～4週間） → ② 課題まとめ（1週間） → ③ 仕組み導入の提案（2～4週間） → ④ 製品別原価集計トライ（12～24週間） → ⑤ 仕組み導入（12～24週間）

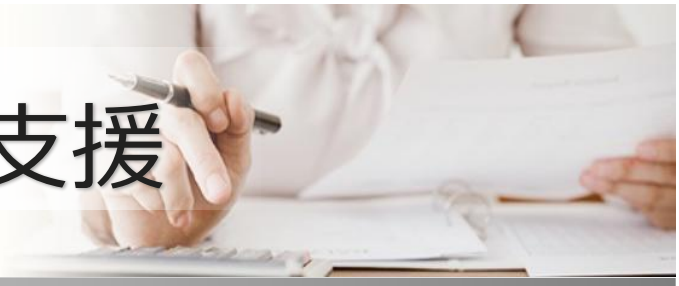
お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
トヨタ経理サポートグループ グループ長
北澤 輝昌
Mobile: 090-1863-9312
E-mail: tkitazawa@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780

TASC 原価サポートサービス

〈部門別〉収益管理支援



部門ごとの収益を把握できていますか？

■部門別収益に関するお客様の困りごと

- タイムリーに経営判断をするために会社収益を細分化し把握したいが部門別の実績費用把握 にすごく時間が掛かる
- 実現したい収益を管理・追求するための 目標策定方法 がわからない
- 目標・予算に対して各部門の納得感が得られておらず、収益管理意識を高められない（改善意欲が培われない）
- 収益管理の PDCA が回っておらず、立てた目標が形骸化している、また責任の所在が不明瞭で実行策が取られない

■お客様のご要望に対するサービス提供事例

- 収益目標に対する 月次進捗確認および経営層報告の様式 を提案
- 予算/実績比較の際に、部門別の活動結果を分析し評価 するため、現地現物で実態を調査
- 確保すべき収益と、過去実績を基にした収益成り行きとのギャップを埋める トヨタ流の収益目標策定方法 をご提案（根拠ある原価低減目標）

■トヨタ式のノウハウを活かし利益創造のお手伝いをします

- **収益管理の PDCA 実現イメージ（①～⑤がサイクルとして回る）**

① 年度収益目標策定 … 前年度収益実績を基に、年度収益 目標を策定

② 予算 vs 実績管理 … 各部門別・費目別の 費用実績を月次で把握し予実差の 要因を分析

③ 経営会議にて実績報告 … 収益状況の報告資料を作成し、経営層へ報告

④ 経営層よりフィードバック … 経営会議にて、今後の 対応・施策を指示

⑤ 収益改善のアクション … 収益改善のため全社で 対応策を検討・実行

サービスフロー

①現状調査（2～4週間） → ②課題まとめ（3日間） → ③仕組み作りの提案（2～4週間） → ④収益把握体制構築（12～24週間） → ⑤収益管理活動フォロー（12～24週間）

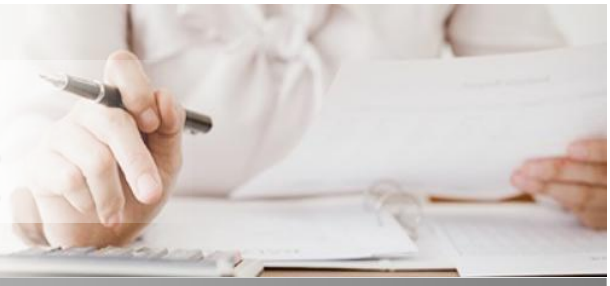
お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
トヨタ経理サポートグループ グループ長
北澤 輝昌
Mobile: 090-1863-9312
E-mail: tkitazawa@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780

TASC 原価サポートサービス

「予算管理」導入支援



“必要な利益”を生み出すため、会社リソーセスをいかに分配するか、明確になっていますか？

■「予算管理」に関するお客様の困りごと

- 会社で実現したい収益を得るための費用規模と、各部門が消費している費用にギャップがあり、収益の確保に苦労している
- 予算策定は行っているが、担当者は日常的に気にせずに業務を行っている
- 費用実績の把握に時間を要し、消費状況がタイムリーに掴めない
- 予算/実績比較により数値上の差は把握できるが、何が問題でどう対処をするべきかわからない

■「予算管理」サービス提供事例

- ◆ 会社収益目標と各部門の売上/費用レベルの連動を図るため、「予算策定プロセス」を設計し、ご提案
- ◆ 日常管理のための視える化を目的として、担当者にもわかりやすいように、「予算管理ボード」を導入
- ◆ 予算/実績比較のスピードアップのために「実績集計業務の自動化、効率化ツール」をご提案
- ◆ 月次管理帳票を導入し、「差異分析」（要因、責任範囲の明確化）と「管理者への進捗共有」をレベルアップ

■TASC の導入支援サービスを利用してみませんか？

- 「予算管理」は、会社利益目標を達成するために、事業活動や日常業務を計画的に実行するための“自己管理ツール”

✓ 財務情報から会社費用の規模、構成、科目ごとの費用発生の性質を確認（変動費/固定費、管理可能費/管理不能費、定常/突発…）

✓ 事業目標、業務計画に伴った実現性のある予算、会社利益目標と連動した予算となるよう策定方法を検討し、ご提案

✓ 実績集計～分析・対策立案～報告がムリなく進められるよう、効率的な管理手順を検討し、日常管理の仕組みとして導入

サービスフロー

① 現状調査（2～4週間） → ② 課題まとめ（1週間） → ③ 仕組み作りの提案（2～4週間） → ④ 予算管理の導入試行（12～24週間） → ⑤ 予算管理活動フォロー（12～24週間）

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
トヨタ経理サポートグループ　グループ長
北澤　輝昌
Mobile: 090-1863-9312
E-mail: tkitazawa@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780

TASC 原価サポート/コンサルティングサービス

「原価企画」導入・改善支援

設計開発段階における原価管理がもたらす収益インパクトをご存じですか？

■設計開発段階における原価管理（＝原価企画）の効果

- 製造原価の大半は開発（図面）段階で決定する。設備投資や仕入先が決定する前に原価管理を開始すれば、**コストダウン余地が縮小**されてしまうことが回避できる。
- そして、**原価低減効果は継続していく**ため、より早く取り組むことでその効果も最大に
- 多くの場合、製品ローンチ直後（モデルチェンジ等）の生産販売量が多く、**低減効果も大きくなる。**

製品ローンチ後の**会社収益を見通せる**ことや**収益改善の最大化を図る**ことに繋がります。

■しかし、設計開発段階の原価把握が難しい…

- ◆ 未確定なことが多く、また**関係部署間での情報共有**も難しい
- ◆ 原価見積に必要な**原価構成要素（原単位×レート）**の洗い出しが不十分
- ◆ **実際原価と見積原価**とで算出方法が異なり、その後の比較・検証が困難

TASC の「原価企画」導入・改善支援サービスを利用してみませんか？

- ✓ **製造・生産の実状** を現地現物で確認し、**費用発生メカニズムを把握**
- ✓ 既存製品の実際原価把握状況に合わせ、**どのような原価見積方法が適切か** 検討し、ご提案
- ✓ 原価見積に必要な元データ取得等の **業務要件、運用フロー** をご提案
- ✓ 新製品開発、既存製品のリニューアル業務を理解し、**関係部署の役割分担、情報共有のマイルストーン設定** をご提案

サービスフロー

① 現状調査（4週間） → ② 課題まとめ（2週間） → ③ 仕組み導入の提案（2～4週間） → ④ 原価企画導入・改善トライ（12～24週間） → ⑤ 仕組み導入（12～24週間）

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
トヨタ経理サポートグループ　グループ長
北澤　輝昌
Mobile: 090-1863-9312
E-mail: tkitazawa@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780

TASC　人材派遣サービス

選ばれる TASC の人材派遣

“磨き抜かれたマッチング力”で、多様な選択肢をご提案いたします

■人材派遣のメリット

- **必要な時、必要な期間で人材の活用**　短期から長期まで、また業務の繁閑に合わせて短時間勤務や週 3 日だけなど、柔軟にご利用いただけます。
- **専門スキルの活用**　弊社は経理・会計の専門会社として財務・経理業務はもとより、労務や通訳・翻訳など他社で培われた専門スキルをもったスタッフの活用を実現いたします。
- **給与支払や社会保険など労務管理の負荷軽減**　派遣スタッフは、給与計算や社会保険の加入手続きなどが不要（弊社にて加入）となり、労務管理にかかる負担やコストを軽減できます。

■TASC の人材派遣が選ばれる理由

さまざまな就労ケースに対応

◆ フルタイム派遣や長期派遣だけでなく、社員の産休や育児・介護による休業時の代替要員、週２～３日や１日５時間といったパートタイム派遣、直接雇用を見据えた紹介予定派遣、豊富な経験を有したシニア派遣など、お客様のニーズに合わせた人材派遣をご提案します。

スキルだけでなく社風との相性も加味したマッチング力

◆ 多くの企業様とのお取引を通じて、磨きぬかれたマッチング力が強みです。経験やスキルの他、社風や仕事の進め方、職場の雰囲気などをしっかり見極め、最適な人材をご紹介いたします。

安心のバックボーン

◆ TASC はトヨタ自動車 100%出資の子会社でトヨタグループの一員です。お客様に安心して派遣スタッフをご活用いただけるよう、コンプライアンスを徹底しています。

サービスフロー

ご要望の確認 → 人選・ご紹介 → 基本/個別契約書の締結 → 派遣スタッフ就業開始 → スタッフフォロー

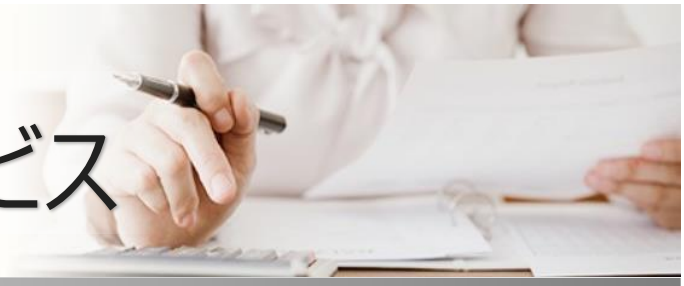
お気軽にご連絡ください

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
コーポレート部門　部門長
林　健太郎
Mobile: 080-6971-7812
E-mail: khayashi@tasc2000.co.jp

【本社】
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号　堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
【東京オフィス】
東京都千代田区九段南 2 丁目 3 番 18 号
トヨタ九段ビル 8 階
TEL: 03-6272-8440

TASC 研修サービス

企業研修 支援サービス



「次世代幹部」育成の選抜研修

■事業環境の激変を迎え、以下のようなご相談が増加！

- 「事業統合に伴うビジョンの共有/縦割り打破が急務だ」
- 「次世代を担う経営幹部/リーダーを選抜教育したい」
- 「自社の経営課題と結びつけて現場で実践できるリアルな研修がしたい」

■TASC の“課題解決型”研修

◆ **研修コンセプトの構築支援**

ケーススタディ＆グループディスカッション中心の講義設計で「部門を超えた一体感」を醸成

◆ **研修結果を現場カイゼンにつなげる実践的研修プログラム制作**

リアル課題を教材に織り込んで、実践につなげる「知識教育＋現場カイゼン」のダブルの成果

◆ **人事アセスメント実施による人材選抜を支援**

最新の Web アセスメントと研修の一体化で「次世代リーダーの育成と選抜」が可能に

■ 研修実施例 トヨタグループ部品メーカー/経営幹部育成プログラム

Online 講義にも対応！

分類	テーマ	カスタマイズポイント
ハード	財務会計	会計データで財務分析、競合他社と比較し自社課題を把握
スキル	管理会計	部門製品別の損益分岐点・限界利益を算出し改善点を把握
	マーケティング	マーケティングの基本理解と新事業マーケティング戦略を検討
	SDGs・CSR	企業価値を上げるSDGs/CSRと新事業戦略の可能性を検討
	経営戦略	自社経営課題を抽出し、具体的プランワーク実施
ソフト	リーダー論/経営者論	創業の原点に戻り、ミッション再確認とイノベーションへの対応
スキル	傾聴・コーチング	傾聴における自己課題を把握し、“人材育成”スキルを習得
	リベラルアーツ	自社ビジネスリーダーに必要な教養(人間の土台)を理解

サービスフロー

課題ヒアリング
組織/人材/教育など
ギャップを認識

企画支援
研修テーマおよび
評価方法決定

概要決定
日程、受講者決定
事前課題、予算措置

運営支援
研修実施
受講者評価実施

アフターフォロー
成果実践発表
人事評価、昇格・異動

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウンティングサービス（TASC）
コーポレート部門 部門長
林 健太郎
Mobile: 080-6971-7812
E-mail: khayashi@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780